

特定医療法人 樟風会 早津江病院



kusunoaoba 樟の青葉



『地域』のために
新型コロナウイルス感染症への取り組み
感染対策への取り組みについて
ワクチンの接種がはじまりました

『人』のために
腰痛の予防に“これだけ体操”
外来に綺麗なお花が登場
式典・永年勤続の表彰がありました
ふまねっとをご存知ですか?
スタッフの制服が変わります!

『未来』のために
早津江病院は65周年を迎ました
新病棟が誕生します
粗刻み食始めました



現在、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、当院でも安心して医療を受けて頂けるよう次のような感染対策を実施しています。

新型コロナウイルス感染症への取り組み

として、玄関には非接触型センサー式体温計の設置、手指消毒器は玄関、各病棟入り口や病棟内に設置。スタッフは出勤前に検温し、病院勤務時には不織布時マスクの着用を励行。毎週、感染対策チームによる会議でフェーズ表の見直しがあり、そのフェーズ表に基づき患者さん対応や職員の行動を徹底しています。

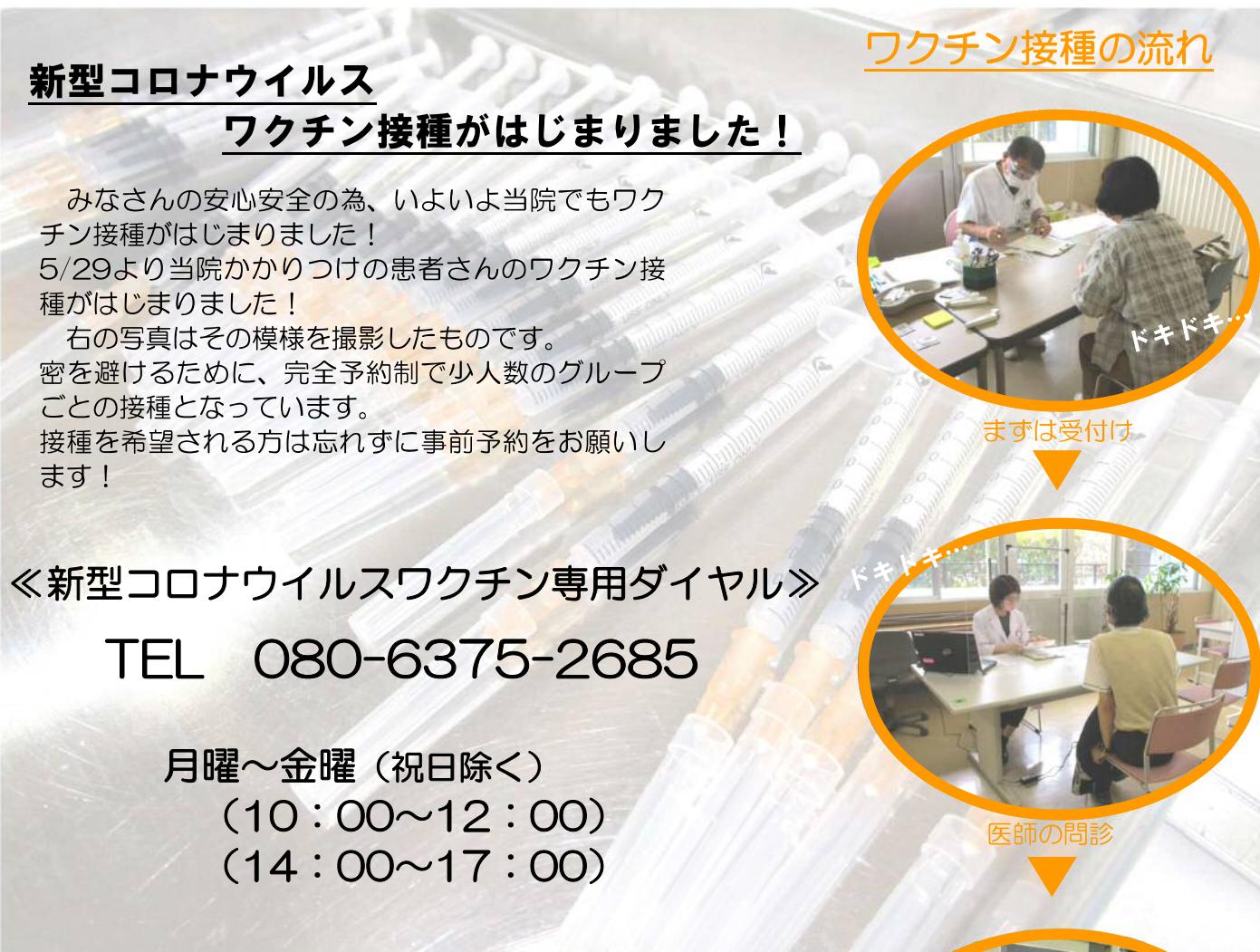


当院の感染対策



病棟での取り組み

病棟でも毎日の検温を行い、30分毎の換気や消毒の徹底を実施し健康管理を行っています。感染予防の為、ご家族等と患者さんとの面会は当院独自のフェーズ表によって面会できる時間の長さや条件が変わります。ご了承ください。



新型コロナウイルス ワクチン接種がはじまりました！

みなさんの安心安全の為、いよいよ当院でもワクチン接種がはじまりました！

5/29より当院かかりつけの患者さんのワクチン接種がはじまりました！

右の写真はその模様を撮影したものです。密を避けるために、完全予約制で少人数のグループごとの接種となっています。

接種を希望される方は忘れずに事前予約をお願いします！

『新型コロナウイルスワクチン専用ダイヤル』

TEL 080-6375-2685

月曜～金曜（祝日除く）
(10:00～12:00)
(14:00～17:00)



もしも…の備えも万全！



ワクチン注射



15～30分待機

終了！

病院スタッフのコロナワクチン接種が4月30日から始まり、6月18日に全ての職員（一部かかりつけ医での接種もあり）の接種が終了しました。大きな副反応もなく安堵しているところです。

入院患者さんのコロナワクチン接種は、75歳以上の方が5月31日から始まり6月23日まで2回目の接種が終了しました。

65歳から74歳までの方は6月14日から始まり、7月7日まで2回目の接種も終了しました。

ワクチン接種の流れ



まずは受付け



医師の問診



ワクチン注射

『人』のために

腰痛の予防に“これだけ体操”



「腰痛」は、日本人の8割以上が一生に一度は経験します。そして重症化すると、何度も繰り返したり慢性的になります。しかし、当院の職員でも腰痛による急な体調不良が増えていました。職員は、腰痛の予防と解消に「これだけ体操」を労働衛生委員会より紹介され、始業時、休憩後、30分毎の換気時間に体操を行っています。あ皆さんも自宅で試されてはどうでしょう。

外来に綺麗なお花が登場



令和2年度患者満足度調査に寄せられた中に「外来受付に花を置いて欲しい」という意見がありました。そこで、季節ごとのブリーフフラワーを飾り華やかさを届けたいと考えました。ブリーフフラワーとは、まだ聞きなれない方もおられるかと思います。生花を乾燥させて発色を良くした花で日持ちがして色々なオブジェ用に形成されているものです。春夏秋冬と季節の花を今後お楽しみください。



『未来』のために**早津江病院は65周年を迎えるました**

病院北側で進んでいます新棟建築ですが、工程はほぼ予定通りに進んでいます。現場の皆さんには感染対策を行いながら、また天候と戦いながら頑張ってくださっています。完成まで5ヶ月となりました。これから内装工事や備品などの確認作業が進んでいきます。

新病棟が誕生します！

当院北側には新病棟を建設中です！一部の病棟の窓からも足場が組まれた現場や、忙しく動きまわる作業員の方々を見る事ができます。



院長より一言

みなさんこんにちは。今年は例年に比べて九州を含む西日本で梅雨入りが早く、気温も30度を超える真夏日が続いております。冷たい甘味や氷菓子が一段と美味しい季節になりましたが、夜も寝不足な日々が続いており、脱水症状や熱中症の危険性が高まっています。家の中でもかかる恐れがありますので、日陰や空調の効いた涼しい場所で休めたり、こまめな水分補給を心掛け、くれぐれもご無理なさらずお過ごし下さい。

さて、東京オリンピック・パラリンピックもいよいよ開催が目前に迫り、世界各国からの代表選手が日本入りする報道をよく目にする様になりました。開催方法の詳細や感染対策が気になるところです。一方で、65歳以上の高齢者への回復率は新型コロナワクチン接種について、6月時点での接種率は全国で佐賀県が一位という報道がなされています。一日でも早く、より多くの方にワクチンが接種されることが必要です。コロナ終息の喜びを分かち合えるよう、協力しながら頑張りましょう。

当院でも、新型コロナワクチン接種を見ても日本全国、佐賀県内でもワクチン接種が広く普及してきました印象を受けます。一日でも早く、より多くの方にワクチンが接種されることが必要です。コロナ終息の喜びを分かち合えるよう、協力しながら頑張りましょう。

当院でも、新型コロナワクチン接種割合を見ても日本全国、佐賀県内でもワクチン接種が広く普及してきました印象を受けます。一日でも早く、より多くの方にワクチンが接種されることが必要です。コロナ終息の喜びを分かち合えるよう、協力しながら頑張りましょう。

新型コロナワクチン接種の予約受付を行っております。そして、今回新たに原則19歳以上のかかりつけの患者さんのみとなります。接種券クーポンが届いた方から順次、ワクチン接種の予約受付を開始しました。当院での新型コロナワクチンに関する問い合わせや予約は専用ダイヤル（080-6375-2685）を準備しております。受付時間は祝日を除く月曜日から金曜日の「10時から12時」と「14時から17時」となっていますので、受付時間内でのお電話をお願いします。また、専用電話に電話が集中し込み合い、大変繋がりにくい事がございます。「ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



新病棟建築に伴い、全スタッフの制服もリニューアルします♪現在、デザインを検討中です。新しい制服に乞つ、ご期待★

「ふまねつ」とは、作業療法の一環として取り入れられる転倒予防や認知症予防、あるいは廃用性萎縮予防に効果があるとされている運動プログラムです。西2病棟の患者さんは退院を目指すために必要な訓練であると意識して活動に参加されます。ふまねつに参加すると共に感謝すると祝福の気持ちでいっぱいとなる瞬間です。

ふまねつをご存じですか？

式典・永年勤続の表彰がありました



スタッフの制服が変わります！

式典・永年勤続の表彰がありました

早津江病院は65周年の節目を迎えました！当院の長い歴史に想いを馳せ、先人たちの堅実な病院運営や、医療福祉活動による地域貢献、それによって積み重ねてきた実績と信頼のおかげだと改めて実感すると共に感謝と祝福の気持ちでいっぱいとなる瞬間でした。永年勤続者にはこれまでの尽力に感謝します。写真は、永年勤続45年で表彰を受けられた松本絞さんと院長です。

その頃病棟では…

★開院65周年記念弁当★

入院患者さんにも、お祝いの気持ちをおすそ分け！
栄養スタッフの愛情いっぱいのお弁当が提供されました♪

気になるお弁当の中身をご紹介♪



- ① ちらし寿司
- ② 天ぷら
- ③ 出し巻き卵
- ④ のし鶏
- ⑤ しゅうまい
- ⑥ 含め煮
- ⑦ 木の芽和え
- ⑧ あんみつ

栄養係では、患者さんの健康はもとより、一人一人に合わせたお食事を手作りしています。
毎日楽しんでいただけるよう、味付けや彩りに気を配っています。



これまで、患者さんの歯の数や飲み込み具合などにより個別に食事形態を変えて提供されていましたが、3月より更に進化!!

粗刻み食 が登場しました♪



粗刻み食始めました！

粗刻み食にはこんな安心のメリットが・・・

メリット1 から揚げなど、丸のまま一口で食べ、喉につまるリスクがあったが一口大に刻むことで窒息を予防できる。

メリット2 刻み食ほどバラバラになり過ぎず、ある程度形が残っている為見た目をさほど損なわない。

編集後記

6月21日に嵐が一番長い夏至を迎え、これら日々と日が短くなっています。九州地方は例年より早く梅雨入りし、連日猛暑が続いているためまだ農作業には休みがあります。川副町は稻作が盛んで大きな田んぼで耕作されています。田植え後の大変な水分補給と十分な休息を心掛けて下さい。令和3年度広報誌は、「地域のために」「人のために」「未来のために」をコンセプトに院外の情報を特集しました。一つでもみなさまの興味を引く話題があれば幸いです。

広報・イベント委員会

早津江病院へのアクセス



佐賀県佐賀市川副町福富827
TEL 0952-45-1331
FAX 0952-45-7334
E-Mail : hayatsue@shoufuukai.or.jp

こちらからもアクセス★ ⇒
<https://shoufuukai.or.jp>

